

# = 平成26年度卒業・修了式 =

3月24日、鹿屋体育大学水野講堂において、平成26年度鹿屋体育大学体育学部卒業式並びに大学院体育学研究科修了式が行われ、体育学部スポーツ総合課程138名、同武道課程48名、大学院体育学研究科修士課程17名、同博士後期課程4名に卒業証書及び学位記が授与された。



スポーツ総合課程総代  
安藤裕華さん



武道課程総代  
尾張功樹さん



修士課程総代  
高山史徳さん



答辞を述べる  
山下友理子さん



後輩からの祝福



懇談会(風呂井理事長による万歳三唱)

# 卒業

羽ばたけ  
大空へ



編集・発行／  
公益財団法人 鹿屋体育大学  
体育・スポーツ振興教育財団  
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地  
鹿屋体育大学内  
0994-46-4827 (直)  
編集兼発行人 風呂井 敬

## 平成26年度卒業・修了式 学長告辞



学長 福永哲夫

常に重要な点であろうと思われまふ。我が国では、これまでに1964年東京オリンピック、1972年札幌オリンピック、1998年長野オリンピックの夏冬合わせて3度のオリンピックを開催してきました。思い起こせば、1964年の東京オリンピックでは国立競技場が新設され、東京に首都高速度道路が整備され、新幹線が開通されるなど多くのインフラが整備されました。一方、スポーツ科学の観点から考えますと、東京オリンピックと同時に開催された国際スポーツ科学会議などとおし、欧米諸国からサーキットトレーニング、インターバルトレーニング等多数の近代トレーニング方法が紹介されました。その後、このような科学的トレーニング方法の効果の検証などの研究が大学や研究所で盛んに行われるようになりました。また、競技選手のフィットネスを測定する試みも数多く行われました。さらに、その後の1972年札幌冬季オリンピックにおいてはスキーやスケート等、種目ごとに、それぞれの科学チームが結成され、測定や調査が行われ、多くの科学的資料が蓄積されました。当時、私はアルペン種目の測定チームに所属し、滑降時のフォーム分析結果などを選択するアドバイザーとしての役割を担っていました。一方、依然として「スポーツ科学が現場に必ずしも役立たない」などの声も聞こえてきます。スポーツパフォーマンスを向上させるには多くの要因が関係してくる事とその理由であろうと思われまふ。人の持つ運動能力には非常に多くの個人差が見られ、大多数の人に効果的な手法であっても特定の個人には当

鹿屋体育大学体育学部卒業生、大学院体育学研究科修了生の皆さん、卒業並びに修了おめでとうございます。また、これまで卒業生、修了生の皆さんを温かく見守ってこられたご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。本日の卒業式並びに修了式の挙行にあたり、文部科学省立訓審議官をはじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えし、卒業式並びに修了式を盛大に挙行できますことに対し、厚く御礼申し上げます。さて、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。最近、テレビ等で「オリンピックレガシー」が話題になっております。レガシーとは「遺産」とか「受け継いだもの」との意味であります。オリンピック開催には競技施設の新設等多大な労力が費やされますが、オリンピックが終了した後にどのような効果を社会に残しているか、という観点からオリンピックを考えようとするものであります。これはオリンピックで優れた成績を残す事と同じくらい、またはそれ以上に非

つまり、1964年東京及び1972年札幌の両オリンピックが残したスポーツ科学領域のレガシーは日本における近代トレーニング方法やその科学的研究が根付いた事と言えます。さて、2020年の東京オリンピックに向けてどのようなレガシーが考えられますでしょうか。近年急速に発達してきたスポーツ科学やトレーニング科学はスポーツの現場に大きな影響を与えてきました。身体の発揮するパワーの向上やその持続性を向上させるためのトレーニング方法やその為のトレーニング機器の開発は目覚ましいものがあります。また、スポーツ障害の予防や治療の手法も著しく進歩してきました。さらに、健康・体力を維持増進するための日常生活における運動の組み込みなどの研究開発も盛んに行われ、その研究成果は社会に多大の貢献をしております。一方で、依然として「スポーツ科学が現場に必ずしも役立たない」などの声も聞こえてきます。スポーツパフォーマンスを向上させるには多くの要因が関係してくる事とその理由であろうと思われまふ。人の持つ運動能力には非常に多くの個人差が見られ、大多数の人に効果的な手法であっても特定の個人には当



ミズノ地球環境保全活動「Crew21」

25

未来が変わる。日本が変わる。

健やかなスポーツシーンを人へ、地球へ

ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて地球環境保全活動に貢献します

明日は、きっと、できる。

# 卒業・修了記念植樹及び日本新記録記念植樹を実施



博士後期課程修了者による植樹



日本新記録記念植樹

3月24日、鹿屋体育大学では卒業・修了式先立ち、平成26年度卒業・修了記念植樹及び日本新記録記念植樹が行われた。

はじめに行われた卒業・修了記念植樹では、本学教職員、学生、保護者が見守る中、体育学

部・修士課程の総代3名と、博士後期課程修了者3名が、福永哲夫学長、若立訓文部科学省大臣官房審議官とともに、「ソメイヨシノサクラ」を植樹した。

引き続き、自転車競技部に所属する上野みなみさん（大学院修士課程1年）、塚越さくらさん（同1年）、橋本英也さん（スポーツ総合課程3年）、原田裕成さん（同3年）の4名が平成26年度に樹立した8つの日本新記録の榮譽を称え、その功績を後に伝えるため、日本新記録記念植樹が行われた。4名は、世界選手権やアジア競技大会など4つの国際大会において、いずれも4kmチームパーシユートで日本記録を更新した。今回はキンモクセイやモクレンなど8本が植樹され、日本新記録を記念して同大に植えられた樹木は、延47本となった。

# 平成26年度学長表彰者決定

鹿屋体育大学では、平成26年度学長表彰の選考を行い、「学業成績優秀者」2名、「競技成績優秀者」個人26名と2団体学生のうち学業の成果が特に優れていると認められる者（学業成績において、卒業までに修得した卒業研究を除く授業科目のうち「A」の評語の数が90%以上の者）②課外活動の成果が特に顕著であり、かつ、鹿屋体育大学の課外活動の振興に功績があったと認められる団体、個人（国際大会又は全国大会レベル以上の競技大会において、優秀な成績

を収めた団体・個人又は体育会・部活動等の発展に特に貢献した団体・個人）、③その他鹿屋体育大学の名譽を著しく高め

たと認められる者が選考対象となっている。表彰式は、卒業生・修了生については3月24日の卒業・修了式で、在学生については4月6日の入学式で行われた。



柴崎俊祐さん



太田明成さん



平田圭さん

- ◆学生表彰（学業成績優秀者）
  - 安藤 裕華 スポーツ総合課程 4年
  - 平田 圭 スポーツ総合課程 4年
- ◆学生特別表彰（競技成績表彰者：個人）
  - 柔道部 堅山 将 武道課程 3年
  - 自転車競技部 橋本 英也 スポーツ総合課程 3年
- ◆学生表彰（競技成績優秀者：個人）
  - 陸上競技部 鍋島 莉奈 スポーツ総合課程 3年
  - 水泳部 太田 明成 スポーツ総合課程 4年
  - 柔道部 森崎由理江 修士課程 2年
  - 自転車競技部 山口 大貴 修士課程 1年
  - 〃 上野みなみ 修士課程 1年
  - 〃 塚越さくら 修士課程 1年
  - 〃 石橋 学 スポーツ総合課程 4年
  - 〃 柴崎 俊祐 スポーツ総合課程 4年
  - 〃 徳田 鍛造 スポーツ総合課程 4年
  - 〃 奥村 諭志 スポーツ総合課程 3年
  - 〃 原田 裕成 スポーツ総合課程 3年
  - 〃 徳田 優 スポーツ総合課程 2年
  - 〃 安本 昇平 スポーツ総合課程 2年
  - 〃 野上 竜太 スポーツ総合課程 1年
  - 〃 堀 航輝 スポーツ総合課程 1年
  - 〃 山本 大貴 スポーツ総合課程 1年
  - カヌー部 山下友理子 スポーツ総合課程 4年
  - 〃 大城 海輝 スポーツ総合課程 3年
  - 〃 宮原 貴朗 スポーツ総合課程 3年
  - 〃 島津早耶子 スポーツ総合課程 3年
  - 〃 明石 寛幸 スポーツ総合課程 2年
  - 〃 松田 裕介 スポーツ総合課程 2年
  - 〃 仲宗根脩真 スポーツ総合課程 1年
  - 〃 田中 香奈 スポーツ総合課程 1年



剣道部代表の前田康喜さん(左)と柔道部代表の長野希美さん(右)



福田晃斗さん

- ◆学生表彰（競技成績優秀者：団体）
  - 柔道部
  - 剣道部
- ◆学生表彰（部活動等の発展に特に貢献した者：個人）
  - サッカー部 福田 晃斗 スポーツ総合課程 4年

# 鹿屋体育大学国際スポーツアカデミー

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムの一環として、鹿屋体育大学では、将来的なアジアでのオリンピック教育プログラムの開発と世界のスポート界で活躍できるグローバル人材を育成することを目的とした「鹿屋体育大学国際スポーツアカデミー（NIFSA）」を平成26年度から実施している。

3月2日からは、セミナープログラムのひとつである「第1回オリンピックマネジメントセミナー」が2週間の日程で開催された。今回は、韓国・中国・台湾・タイ・マレーシアの大学院生やコーチなど21名が参加し、オリンピック教育や日本文化の体験などのプログラムを実施し、3月7日には、同大水野講堂で「第1回鹿屋体育大学国際スポーツアカデミーシンポジウム」が開催された。

シンポジウムは、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてのオリンピック・レガシー」をテーマに催され、ミスノ株式会社会長の水野正人氏、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副事務総長の布村幸彦氏、ケルン大学前学長のWalter Tokarczyk氏、一橋大学准教授の鈴木直文氏、長崎大学教授の西澤昭氏の5名が講演を行った。

この事業は、2020年まで継続的に実施される予定で、同大の特徴を活かしたセミナーの実施により、オリンピックの普及とスポーツ医学研究の推進が期待される。



シンポジウム講演者



武道実践演習で柔道を体験



鹿屋市長を表敬訪問

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日 毎週水曜日・土曜日 AM 8:30~9:00 PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 電話(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL 鹿屋自動車学校

すべての消費者のために!!

MOVE It's your Future 寿スポーツ

〒894-4413 鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

バス 寿自動車学校 バイク トラック イレブン

株式会社 三ホ商会

〒893-0009 鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】 鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

# 平成26年度冠スポーツ奨学金、特別スポーツ奨学金を贈呈

3月23日、本財団では平成26年度に国内の競技大会で優秀な成績を収めた学生と競技団体に對し「冠スポーツ奨学金」の贈呈を行った。この奨学金は、地元企業を「冠スポーツ奨学金」の皆様からのご寄付により贈呈されるもの。

受賞した39個人、3団体を代表して柔道部の豎山将さん（武道課程3年）に、風呂井敬本財団理事長から奨学金が手渡された。



風呂井理事長



代表で挨拶する豎山さん

お礼の言葉とともに今後の抱負を述べ、また、風呂井理事長からは受賞者に対し激励の言葉が贈られた。



陸上競技部



体操競技部



水泳部



柔道部

## 冠スポーツ奨学金受賞者一覧

サークル名	対象者	大会名	種目名等	成績
陸上競技部	中村 枝里子	2014 日本学生陸上競技個人選手権	女子円盤投	2位
	鍋島 莉奈	第83回日本学生陸上競技対校選手権	女子10000m	1位
	藤田 理恵	第83回日本学生陸上競技対校選手権	女子10000m	2位
	前川 祐紀	2014 日本学生陸上競技個人選手権	女子5000m	3位
体操競技部	団体	第68回全日本学生体操競技選手権大会	男子団体種目平行棒	3位
水泳部	福留 景子	第90回日本学生選手権水泳競技大会	女子100m 平泳ぎ	3位
柔道部	森崎 由理江	平成26年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	女子48kg	3位
	団体	平成26年度全日本学生柔道優勝大会(女子23回)	女子3人制	1位
剣道部	団体	第62回全日本学生剣道優勝大会	団体	1位
ヨット部	平野真未・仲山 景	第23回全日本学生女子ヨット選手権大会	スイング級	3位
自転車競技部	上野 みなみ	第83回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	女子エリートポイントレス(20km)	1位
	塚越 さくら	第83回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	女子エリート3km 個人パシュート	1位
	山口 大貴	第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	男子チームスプリント	1位
	石橋 学	第18回全日本選手権個人タイムトライアル・ロード・レース大会	個人タイムトライアル(男子U23)	1位
	柴崎 俊祐	第83回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	男子エリートチームスプリント	1位
	徳田 鍛造	第53回全日本学生選手権チームロードタイムトライアル大会	チームロードタイムトライアル	1位
	入佐 直希	第16回全日本学生選手権クリテリウム大会	男子40km(20周)	3位
	奥村 論志	第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	男子ケイリン	1位
	橋本 英也	第83回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	男子エリート4km 個人パシュート	1位
	橋本 直	第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	男子チームパシュート	2位
	原田 裕成	第83回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	男子エリートスクラッチ(15km)	1位
	江藤 里佳子	第55回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	女子3km 個人パシュート	2位
	徳田 優	第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	男子個人ロードレース	1位
	馬渡 伸弥	第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	男子個人ロードレース	3位
	安本 昇平	第55回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	タンデム・スプリント	1位
	野上 竜太	第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	男子1km タイムトライアル	1位
堀 航輝	第55回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	1km タイムトライアル	1位	
山本 大喜	第26回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会	男子個人ロードタイムトライアル	1位	
カヌー部	山下友理子・田中香奈	平成26年度日本カヌー選手権大会	女子カヤックペア 200m	1位
	大城 海輝	平成26年度日本カヌー選手権大会	カナディアンシングル 1000m	1位
	島津 早耶子	平成26年度日本カヌー選手権大会	女子カナディアンシングル 200m	1位
	宮原貴朗・大城海輝	2014年度第50回全日本学生カヌー選手権大会	カナディアンペア 1000m	2位
	明石 寛幸	平成26年度日本カヌー選手権大会	カヤックペア 1000m	2位
	松田裕介・仲宗根脩真 宮原貴朗・大城海輝	2014年度第50回全日本学生カヌー選手権大会	カナディアンペア 1000m	1位
	丸山雄祐・宮原貴朗	2014年度第50回全日本学生カヌー選手権大会	カナディアンペア 5000m	3位
	田中 香奈 仲宗根 脩真	平成26年度日本カヌー選手権大会 2014年度第50回全日本学生カヌー選手権大会	女子カヤックシングル 200m カナディアンシングル 5000m	3位 3位

## 特別スポーツ奨学金受賞者一覧

柔道部	豎山 将	2014年グランプリ・ウランバートル	男子66kg級	3位
		2014年グランプリ・チェジュ	男子66kg級	1位
	義村 真由	2014年ポーランドジュニア国際大会	女子52kg級	2位
自転車競技部	塚越 さくら	2015年アジア選手権大会	女子エリートポイントレス	3位
			女子エリートチームパシュート	3位
	上野 みなみ	2015年アジア選手権大会	女子エリートチームパシュート	3位
		2015UCIトラック世界選手権大会	女子エリートポイントレス	2位
	橋本 英也	2014 仁川アジア競技大会	男子ホムム	1位
		男子チームパシュート	3位	



剣道部



ヨット部



自転車競技部



カヌー部

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に頼る

**株式会社 新生社印刷**

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34  
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541  
URL <http://www.shinsei-p.co.jp>  
E-mail [kan@shinsei-p.co.jp](mailto:kan@shinsei-p.co.jp)

心豊かな車社会を願う

# 寿自動車学校

スクールバスを1時間ごとに運行しています

鹿屋市礼元1丁目13-30 電話(0994) 43-2627

大酒造株式会社

大酒造株式会社 鹿屋市白崎町21番1号  
TEL 0994-44-2190(代) FAX 0994-40-0950

●平成年度の製造は法律で定められています。●健康のため、飲み過ぎに注意しましょう。●妊娠中・授乳期の飲酒はお控え下さい。●飲酒運転は厳禁です。

### 鹿屋体育大学退職教員の紹介

平成27年3月31日付けで、鹿屋体育大学を退職された先生方をご紹介します。永年にわたり、教育・研究へのご尽力ありがとうございました。

所属・職名	氏名
スポーツ人文・応用社会科学系・教授	児玉 正幸
スポーツ人文・応用社会科学系・教授	山崎 利夫
スポーツ生命科学系・准教授	東 博文



和歌山大学の本山貢氏の発表

和歌山大学の本山貢氏より「地域における貯筋運動のプロモーション」として、東京サテライトキャンパスの津々木晶子氏より「リサーチからソーシャルリスニングへ」東京サテライトキャンパスにおける貯筋運動教室として、東京都文京区での貯筋教室の取り組み紹介、坂口俊哉氏より「生涯スポーツ実践センター講師より「地域における貯筋運動のプロモーション」として、垂水市における普及状況の調査結果が紹介され、貯筋運動普及に向けた課題等が報告された。続いて和歌山大学教育学部教授の本山貢氏より「和歌山県全域に広がる、わかやまシニアエクササイズ運動プログラム」として、和歌山県で約7千人が実践しているシニアエクササイズについて調査分析の結果、シニアエクササイズによる介護給付額の年間削減推定額が一人あたり3万5千円に上ることなどが紹介された。

生涯スポーツ実践センター協力者会議を開催。鹿屋体育大学では、2月27日に平成26年度生涯スポーツ実践センター協力者会議を開催した。同会議は、健康づくりや生涯スポーツの普及・振興を図るために、専門的知識を有する学識経験者及び健康づくりや市民スポーツに関連する方々から広く意見を求めるため毎年1回開催している。今回は、「地域における健康づくり教室のプロモーション」をテーマに、同大が推進している貯筋運動について、地域での取り組み状況から今後の展望と課題を見出すことを目的として開催され、鹿児島県健康増進課をはじめ、鹿児島県内の各市町村の健康増進・市民スポーツ関係者の出席を得て、研究協議が行われた。

### 理事・副学長の任命について

国立大学法人鹿屋体育大学では、平成27年4月1日付けで理事及び副学長が任命されましたので、お知らせします。

理事・副学長 中禮 裕己 (新任)  
(事務局長兼務)



### 黒川文朗理事の講演会

3月12日、第96回鹿屋体育大学学術研究会において、本財団の常任理事で、4月1日付けで鳴門教育大学に異動となった黒川文朗理事・副学長・事務局長の講演会が行われた。「理事は見たー2011〜2014年度」と題した講演では、大学のガバナンスや組織マネジメント、情報発信や説明責任



幾留沙智助教からの花束贈呈

最後は「これからは鹿屋体育大学の応援団であり続けよう」という言葉で締めくくられ、集まった教職員から大きな拍手が贈られた。4年間、本財団及び鹿屋体育大学へご尽力いただき、ありがとうございました。

### 闘いの記録 2月

【水泳】

◆第35回九州カップ水泳競技大会 (2/7~8 福岡市総合西市民プール)

▽男子

50m自由形	1位 鈴木 天理
	2位 湯之原孝実
100m自由形	2位 今井祐次郎
	3位 松林 耕一
200m自由形	1位 今井祐次郎
100mバタフライ	1位 鈴木 天理
100m背泳ぎ	3位 遠藤 舜弥
200m背泳ぎ	1位 遠藤 舜弥
100m平泳ぎ	2位 宮澤 祐太
200m平泳ぎ	3位 宮澤 祐太
400m個人メドレ	1位 新田 城二

▽女子

200m自由形	3位 原 優美
800m自由形	2位 早水柚香子

50mバタフライ	3位 原 優美
50m背泳ぎ	3位 伊藤 鮎香
100m背泳ぎ	2位 伊藤 鮎香
100m平泳ぎ	2位 城山 温
200m平泳ぎ	2位 城山 温
400m個人メドレ	1位 城山 温

【自転車競技】

◆2015トラックアジア自転車競技選手権大会 (2/4~8 タイ/ナコンラチャシマ)

女子エリートポイントレース	3位 塚越さくら
女子エリートチームタイムトライアル	3位 塚越、上野※
女子エリート個人タイムトライアル	4位 塚越さくら
女子エリートチームタイムトライアル	6位 上野みなみ

※は、他団体の所属選手との出場を示す。

◆2015ロードアジア自転車競技選手権大会 (2/11~13 タイ/ナコンラチャシマ)

	9位 徳田 優
--	---------

◆世界選手権自転車競技大会トラックレース (2/18~22 フランス/パリ)

女子ポイントレース	2位 上野みなみ
-----------	----------

### 闘いのスケジュール 5月

- 2日・第63回九州学生体操競技選手権大会 (～3 大分県立総合体育館)
- 3日・平成27年度九州大学春季バレーボール男子リーグ戦 (1部リーグ戦第2週) (～5 熊本/熊本学園大学)
- ・第68回朝日レガッタ (～6 滋賀県立琵琶湖漕艇場)
- 4日・平成27年度九州大学春季バレーボール女子リーグ戦 (1部リーグ戦第2週) (～6 福岡/日本経済大学)
- 14日・平成27年度九州大学春季バレーボール男子リーグ戦 (本大会) (～17 鹿児島/鹿屋市内)
- 15日・第85回九州学生陸上競技対校選手権大会 (～17 鹿児島県立鴨池陸上競技場)
- 21日・平成27年度九州大学春季バレーボール女子リーグ戦 (本大会) (～24 長崎/長崎市内)
- 29日・第65回西日本学生体操選手権大会 (体操競技の部) (～31 福岡/北九州市立総合体育館)

### 学内行事5月

- 1日 競技力向上月間(～31日)
- 24日 大学説明会(東京サテライトキャンパス)
- 29日 卒業研究の概要(プロポーザル)提出締切(4年次)

本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

鹿屋銀行鹿屋支店 (普) 九三二〇六七  
鹿児島興業信用組合 古江支店 (普) 三五八二二一  
鹿児島相互信用金庫 西原支店 (普) 〇〇四三八〇

事務局から 本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費(寄付金)は一口 企業三万円、個人二万円からです。本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費寄付金につきましては税法上の優遇措置があり、二千元を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

### 広告欄の御利用について

本紙各面の広告欄の御利用をお待ちしております。申し込みは、電話 0994-46-4827 (公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団事務局まで、ご連絡願います。

### 授業料の納付について

平成27年度前期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしく願いいたします。  
1. 銀行口座引落日：4月27日(月) ※新入生は、5月27日(水) 前日までに引落口座へ入金して下さい。  
2. 授業料(半期分)：267,900円  
3. 問い合わせ先 鹿屋体育大学 財務課出納係 TEL 0994-46-4840

### 汲取の御注文 浄化槽の管理

水質保全に 全力投球

株式会社 西日本浄化サービス  
代表取締役 田中ふみ子  
鹿屋市王子町4531-2  
TEL (0994) 43-3425